

別表第二（第二条関係）

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保 険シス テム	認定審査会 システム	適合基準日
0230209	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.1.	帳票単位に出力有無を設定できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230210	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.2.	指定した条件に該当する対象者の宛名ラベル、もしくは窓あき封筒に対応した宛名シートを出力できること。 省令様式第●号<宛名シール> 告示別表第●を参照■帳票詳細要件 シート：共通-03■ 省令様式第●号<宛名印刷> ※窓あき封筒に対応した宛名シート 告示別表第●を参照■帳票詳細要件 シート：共通-04■ ※ 出力する情報は対象者の送付先に対応すること	◎	◎	令和8年4月1日
0230211	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.2.	指定した条件に該当する対象者の省令様式第●号「窓空宛名・問合せ先」を出力できること。 告示別表第●を参照■帳票詳細要件 シート：共通-05■ ※ 出力する情報は対象者の送付先に対応すること 【補足事項】 当帳票は3つ折り時の「宛先」と「問合せ先」の2つの窓空き封筒に対応したものであり、印字する内容は「宛先」と「問合せ先」となる。	○	○	
0230212	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.3.	宛名を印字する帳票において、宛名情報からカスタマバーコードが出力できること。 ※ 出力する情報は対象者の送付先に対応すること	◎	◎	令和8年4月1日
0230213	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.4.	通知書等において、マスタ管理している電子公印もしくは”（公印省略）”といった文言に応じて印字できること。 なお、電子公印もしくは”（公印省略）”といった文言は複数管理でき、必要に応じて切り替えができること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230214	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.5.	通知書等において、マスタ管理している首長や職務代理者等に応じて印字できること。 ※ 帳票の発行日時時点で印字する首長、又は職務代理者等を判定し印字できること	◎	◎	令和8年4月1日
0230215	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.6.	通知書等において、対象者氏名には氏名優先区分の設定に応じて氏名、通称名等を出力できること。 ※1 外国人の場合は通知書と証等の外部帳票すべてを対象とする ※2 性同一性障害を有する被保険者の場合は証のみを対象とする ※3 ※1の印字内容は住民記録システム標準仕様書に準拠する ※4 ※2の印字内容は機能ID 0230096における氏名優先区分の設定内容に応じて出力すること	◎	◎	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保険システム	認定審査会システム	適合基準日
0230216	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.7.	通知書等の外部帳票に口座情報を印字する場合は、アスタリスク等を印字できること。なお、対象となる帳票において、伏せる口座情報の項目は統一すること。	◎	○	令和8年4月1日
0230217	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.7.	通知書等の外部帳票に口座情報を印字する場合は、アスタリスク等を印字できること。なお、対象となる帳票において、伏せる口座情報の項目は統一すること。 ※ 口座番号をアスタリスク等で伏せる場合、開始位置と桁数を指定し伏せる箇所を設定できること	○	○	
0230218	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.8.	文書番号を伴う通知書出力時は、手入力した文書番号を前後の記号文字も含めて印字できること。 ※1 文書番号未入力時は、文書番号の前後の記号文字も含めて印字しないこと ※2 文書番号の前後の記号文字は、帳票ごとにパラメタ等で設定できること	◎	◎	令和8年4月1日
0230219	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.8.	文書番号を伴う通知書出力時は、手入力した文書番号を前後の記号文字も含めて印字できること。 ※1 文書番号は文書番号記号ごとの年度ごとに自動付番できること ※2 自動付番の利用有無をパラメタ等で設定できること ※3 自動付番した番号は画面表示させ修正できること ※4 文書番号未入力であっても文書番号の前後の記号文字のみを印字するか否かを設定でき、「有」が設定されている場合は、実装必須機能の※1より優先して、文書番号の前後の記号文字を印字すること	○	○	
0230220	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.25.	通知書等を出力する場合は、問合せ先を印字できること。 ※1 帳票単位で設定した問合せ先を印字すること ※2 問合せ先が自治体組織（支所等）に応じた単位で管理されている場合、※1よりも優先して対象者の住基情報（地区管理コードや日常生活圏域（校区）等）と結び付けて印字できること	○	○	
0230221	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.9.	被保険者証等の証や各種通知書等に対して発行日を設定でき、出力できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230222	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.10.	各種申請書や届出書、通知書等において、対象者に結びつく情報や文書番号等の出力時に決まる情報は出力せず、システム印字項目を空欄で出力（空印刷）できること。	○	○	

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保険システム	認定審査会システム	適合基準日
0230223	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.11.	帳票に出力する対象者情報に応じて、敬称を付けたり、文言を付加したり、置き換えたりできること。 <設定例> ・法人の場合、「御中」を付加 ・個人の場合、「様」を付加 ・死亡による資格喪失者の場合、「ご家族様」「ご遺族様」の付加や置き換え	○	○	
0231367	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能		大量印刷については、郵便局別や集配局別に山分けができること。	○	○	
0230224	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.12.	大量印刷については一括印刷に対応すること。また、個別にオンライン印刷が可能であること。 ※ 一括印刷において、出力済の対象者分の帳票を出力対象から外すこともできること	○	○	
0230225	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.26.	大量帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについてCSV形式のテキストファイルを作成し、出力できること。 二次元コード（カスタマバーコードを含む。）については、二次元コードの値をファイルに格納すること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230226	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.13.	大量帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについて印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	○	○	
0230227	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.14.	帳票の一括出力処理やバッチ処理を行う場合、対象者の状態（資格喪失、特記事項重要度、支援措置対象者、カスタマバーコード出力不可等）に応じて、該当者のリストを出力できること。 ※1 住民へお渡しする帳票（通知書の他に申請書類や証等）を対象とする ※2 作成するリストの項目は、対象者情報（氏名、住所、被保険者番号等）と対象者の状態（資格喪失、特記事項重要度、支援措置対象者、カスタマバーコード出力不可等）を必須とする ※3 EUC機能を利用して実装する場合は介護保険共通「1.5 一覧管理機能」に記載のEUC機能の要件を満たすこと	◎	◎	令和8年4月1日
0230228	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.14.	帳票の一括出力処理やバッチ処理を行う場合、対象者の状態（資格喪失、特記事項重要度、支援措置対象者、カスタマバーコード出力不可等）に応じて、該当者のリストを出力できること。 ※1 住民へお渡しする帳票以外も対象とする ※2 作成するリストの項目は、対象者情報（氏名、住所、被保険者番号等）と対象者の状態（資格喪失、特記事項重要度、支援措置対象者、カスタマバーコード出力不可等）以外は標準オプションとする	○	○	

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保険システム	認定審査会システム	適合基準日
0230229	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.30.	通知書等の帳票を一括出力する場合、転出・死亡等の住基の非住民が含まれていた場合は出力対象外とし、出力対象外者を一覧で確認できること。	○	○	
0230230	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.31.	帳票出力時、「⑦に定める文字サイズでは印字枠に収まらない文字数の場合は、印字枠に収まるように文字サイズを縮小や改行をして印字すること」について、当要件に替えて、文字溢れ対応として、該当欄を空欄とし、明示的に気づける仕組みとすること。	○	○	
0230231	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.15.	対象者への通知書等を一括出力する場合、集配局や送付先等を含む対象者のリストをEUC機能を利用して出力できること。 ※ 介護保険共通「1.5 一覧管理機能」に記載のEUC機能の要件を満たすこと	○	○	
0230232	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.16.	画面より帳票を出力する機能において、出力可能な帳票が複数存在する場合、出力可能な帳票が一覧形式で表示され、出力する帳票を指定できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230233	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.17.	各種帳票を出力する前に帳票の出カイメージをプレビュー表示し確認できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230234	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.27.	印刷時は最低限の機能として出力プリンタの変更、用紙（カセット）指定、ページ指定、両面印刷指定、2in1指定ができること。	○	○	
0230235	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.18.	帳票の発行履歴を照会できること。 ※1 帳票のプレビュー表示では発行履歴は作成せず、紙やデータで出力した場合のみ作成すること ※2 帳票の再出力を行うための管理となるため、住民へお渡しする帳票（通知書の他に申請書類や証等）を対象とする 【管理項目】 ・宛名番号 ・被保険者番号 ・帳票ID ・発行日 ・発行時刻 ・発行回数 ・文書番号 ・帳票作成者	◎	◎	令和8年4月1日
0230236	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.18.	帳票の発行履歴を修正・削除・照会できること。 また、文書保存年限到達後は発行履歴を削除できること。 ※1 住民へお渡しする帳票以外も対象とする ※2 発行履歴は一括削除もできること	○	○	
0230237	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.19.	帳票の発行履歴を一覧で確認できること。	○	○	
0230238	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.20.	出力済の帳票を発行履歴から指定し、出力した時点の帳票と同じ内容で再出力できること。	◎	◎	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保 険シス テム	認定審査会 システム	適合基準日
0230239	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.20.	出力済の帳票を発行履歴から指定し、出力した時点の帳票と同じ内容で再出力できること。 また、再出力する帳票のうち、一括で出力した帳票の場合は作成した時に設定された帳票に関するパラメタ情報（出力対象期間や出力内容等に関する設定）を確認できること。 ※1 帳票で複数名分を出力した帳票の場合、再出力の対象者を特定できること ※2 出力済の帳票を発行履歴から指定し再出力した場合、発行回数に計上しないこともできること	○	○	
0230240	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.21.	一括出力時の出力順は、出力する帳票のシステムからの印字項目を指定し並び替えできること。 ※1 出力順は事業や帳票種類により異なるため、共通要件としては上記レベルとしている ※2 住民へお渡しする帳票（通知書の他に申請書類や証等）を対象とする	◎	◎	令和8年4月1日
0230241	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.21.	一括出力時の出力順は、出力する帳票のシステムからの印字項目を指定し並び替えできること。 ※ 住民へお渡しする帳票以外も対象とする	○	○	
0230242	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.22.	通知書等の固定文言（教示文全体を含む）を管理できること。 ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること ※2 印字有無、文言を設定できること ※3 文言は、次の管理ができること ・複数行（改行付き）を管理できること ・先頭文字に全角空白文字を設定できるなどインデントに対応できること ・半角文字、英数、記号など、一般的な通知書における文言に対応できること ※文字の強調（ボールド、アンダーライン、文字サイズ等）は含まない	◎	◎	令和8年4月1日
0230243	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.22.	通知書等の固定文言（教示文全体を含む）を管理できること。 ※ 管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること	○	○	

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	介護保 険シス テム	認定審査会 システム	適合基準日
0230244	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.23.	通知書等への印字項目等を管理できること。 ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること ※2 印字有無、印字する管理項目、前付加文言、後付加文言を設定できること ※3 システム印字項目 1箇所に対して※2を複数設定できること ※4 ※3にて複数設定された場合、設定単位に改行を付与して印字されること	◎	◎	令和8年4月1日
0230245	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.23.	通知書等への印字項目等を管理できること。 ※ 管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること	○	○	
0230246	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.24.	帳票における対象者等の住民の住所欄（窓空き部分を含む）は、住登外者等の「住所_都道府県」の印字が必要な場合を除き、「住所_市区郡町村名」＋「住所_町字」＋「住所_番地号表記」、「住所_方書」のとおり印字できること。	◎	◎	令和8年4月1日
0230247	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.28.	各申請書・届出書やお知らせ、通知書等に設けている自由記載欄（主に帳票の最下部に配置）に対して、個人を一意に識別できるバーコードもしくは二次元コードを印字できること。 ※ 帳票単位で印字有無を設定できること	○	○	
0230248	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能	1.6.29.	各申請書・届出書やお知らせ、通知書等に設けている自由記載欄（主に帳票の最下部に配置）に対して、電子申請サイトや手続き方法の案内等の自治体ホームページにアクセスするための二次元コードを印字できること。 ※ 帳票単位で印字有無やアクセス先を設定できること	○	○	
0231368	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能		自由記載欄（主に帳票の最下部に配置）がある申請書・届出書やお知らせ、通知書に対して、当該帳票による処理状況を識別できるバーコードもしくは二次元コードを印字できること。 ※ 帳票単位で印字有無を設定できること	○	○	
0238018	1 介護保険共通	1.6 帳票出力機能		大量帳票等の印刷のため、当該帳票等のデータについて印刷イメージファイル（PDF形式等）を作成し、出力できること。	◎	◎	令和9年4月1日

備考
◎: 地方公共団体情報システムに必ず実装しなければならない機能(実装必須機能)
○: 地方公共団体情報システムに実装するか否かについて当該システムを開発する事業者が判断する機能(標準オプション機能)
×: 地方公共団体情報システムに実装してはならない機能(実装不可機能)
ー: ・機能名称の列におけるものは該当する項目がないこと
・実装区分の列におけるものは当該実装区分において実装の対象外であること
・適合基準日の列におけるものは適合基準日を設定しないこと